

(付箋)

正副式通有之二付此一通寫取ル暇ナキニ
付壺通ヲ取り寫二代へ

現時福島縣郷社飯豊山神社ニシテ
本縣郷社ニ御引直ノ儀ニ付願
石神社之儀ハ常郡地内飯豊山ニ鎮坐シ
本郡由日出谷部落(寶川、豊田)人民ニ奉ラハ
殊ニ信仰ノ大神ニ御坐候抑モ該神社ノ
創立ハ既ニ数百年ノ久シキニ洩リ其ノ詳細ナハ
記録等ハ存在セスト至モ往古ヨリノ口碑ニ傳
ルハ僧行基ハ角室海等登山開基セリ
然レモ高山峻嶺ニシテ四時雪アリ攀登リカタク
自然中絶セリト然レモ常郡日出谷部落ニ
一人ノ行者アリ其ノ性豪愔廉直ニシテ
諸國高山靈地ヲ經歷セサハナリ殊ニ飯豊
山ノ儀ハ近國無比ノ靈境タヘモ空海等開

新編縣志

基以來其ノ神德ノ炳ハレサハシ深ク遺傳トシ
爰ニ非常ノ憤慨ヲ發シ数年ノ艱苦ヲ極メ
僅カニ信者參詣ノ通路ヲ開キヌケ数年ノス
レキヲ経漸ク山嶺ニ一臺宇ヲ創立シ飯豊
山大權現ト崇稱シ而モ常郡部落村々ノ信者
等丹誠ヲ尽シ取々ニ佛像ヲ安置セリト云
ヘリ古來倍々人民ニ該山ノ靈場タハシ尊敬
シ連年登山シテ神德ヲ仰キ來レリ然レモニ
往昔越後國主楳四郎長茂取領内常郡
ヲレケ叔父ハ奥州會津大寺村惠日寺
住僧兼丹坊ノ寄附セシヨリ以來會津部
内ニ入り連綿會津城主ノ取領ニ属セリ故ニ
天正年中領主蒲生氏郷ニ至リ會津郡

下蒸井村蓮華寺十三世住職青明ノレテ詠
 山別當トナス更ニ路ヲ開カレメ耶麻郡飯根
 村及ビ一ノ水村ヨリ登山スルニ至レリ爾來蓮華
 寺住職代々受持罷在且ツ封就ノ領主ニ
 於テ深ク信仰セシヨリ通路ノ如キモ耶麻郡ハ
 自然本道ト相成當郡ヨリ登山ノ通路ハ遂
 ニ舊道ノ形ヲ遺カニ残スノミ而シテ維新古神
 佛混交不相成儀ニ甘飯豊山大神ト改称
 セラレ則テ從前ノ住職（會津郡下蒸井村蓮華寺住職）モ復節上
 更ニ神職ト相成依然受持罷在俟然ハ如
 舊若松縣ニ於テ去ハ明治五年神社御改正
 ノ御郷社（氏子）ト定メラシ其ノ后福島縣ニ於テ
 明治十一年中神官ハ必ス神社最寄ノ地方ヨ
 リ撰任ス（キ）儀ニ相成則テ耶麻郡ノ神官ラレテ
 更ニ詠神社ノ祠官ニ任セラレ俟儀ニ御坐俟
 爾來耶麻郡ハ登山便宜ノ地タハラシラ神官撰
 舉等ヲ始メ都テ詠郡信者ノミニテ負擔罷在
 俟石ハ本郡信者共ニ於テ甚タ遺恩ノ至リニ有
 之俟得共是レ迄ハ同一ノ管轄ニ屬セハシ以テ
 復古ノ機會ヲ不得在萬罷在俟ハ當今
 ニ相成俟テハ既ニ已ニ管轄シ異ニシ地籍ノ儀モ
 別紙図面ニ於テ當郡地内ニ判然明瞭シ且
 ツ往古ヨリ當郡領守神ナラシ他縣ノ郷社ト相成
 居俟殿信者一般自ニ歎惋ノ至リ御坐俟間何
 卒賢明ノ御詮議ヲ以テ至急本縣郷社ニ御引
 直親以下置度信者総代連署此致奉願俟也

参考

坐

坐(座)

該

該

而

而して

爾来

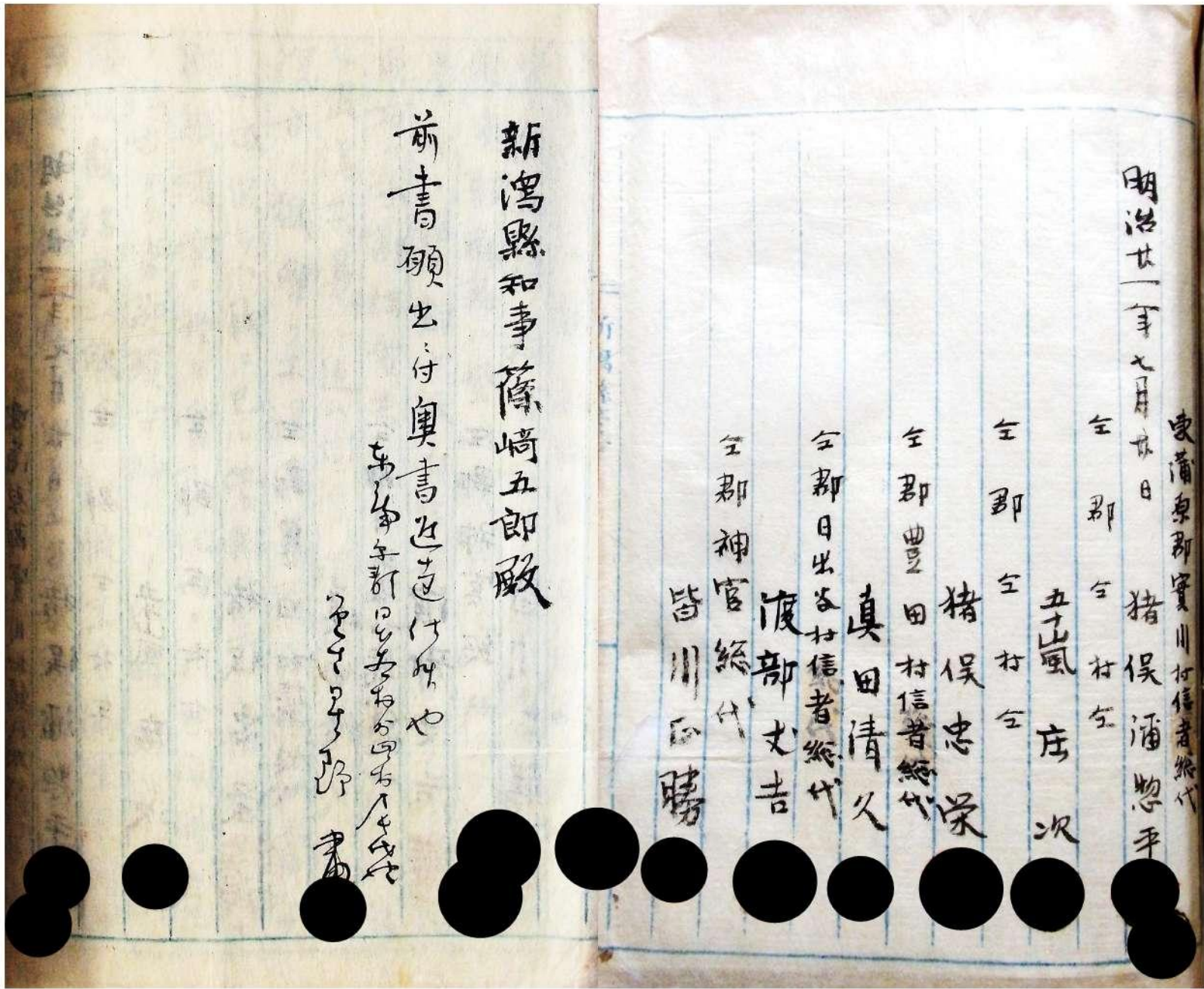
爾来

罷在

罷在

段

段



農文 八三九号

管下岩代國郎麻郡一ノ本村飯豊山神社
所在地盤之義ニ曰此年十二月庚申七三
一五號 所照唐主拓之義云々

一 目表云々及此田所唐津正統祀ニ因ルモ飯豊
山神社地ニ所屬不明云々少ヤ越ニ後得共
右正統祀ニ奥州唐津肝麻郡而本郷一
ノ戸村飯豊山開基縁起ナルニ因ルモ後所
在地ハ郎麻郡一ノ本村ニ所スル義ト知悉ナク
一 実川ニ於テ飯豊山始山地ヲ割シ後前
細粒云々中 越ニ後得共一ノ本村ニ於テモ
注者四藩治之義ヲ有 維新後地但改正

飯豊山神社境内地ヲ降テ飯山ニ割シ
細粒致ニ来リ申 然
一 実川村ニ於テ五ノ年 中ハ藉稿纂之
際 神懸セシ一ノ村全圖ニ至五ノ村ニ於テ
境界ノ相違ナクヲ証明連署云々少ヤ
概ニ後得共ハ此後田村々ニ於テハ後國牛
字ニ字高陽山字就岩字就鷲巢ニ係ル
境界ノ証明ヲナシタルモ、知ニシテ其連
署者ハ此村代ノ名義ノ如キハ村唐主
後ニヨリタルモ、無ク又一村之委任狀ヲ
得タルモノニ無クハ以テ何レモ正當ニ此代
ノ資格ヲ具スルモノト爲テ知シテ右之因
面ハ本村ノ主務官吏ニ於テ一ニ神神在

三丁一アリトスルモ右ノ寺ノ下部石段是ト云
更ニテ要スルキモノト認ム

延享四年四月若船領主ノ差出シタル山
境取々取調圖面ニ一目瞭然云々此ノ城
ニ取調共右ノ果シテ四領主ノ差出シタルモ
ノナルモ不明ナルノミナラス右ノ寺ノ寺主於テ
以テ飯豊山神社祓取地ノ証左ト爲スル
是ヲカルモノト相認ム

本縣終斗表四若松治一覽表表本
縣實測圖并管轄諸ノ寺ノ以テ之
圖面ニ飯豊山ノ城後國ニ属シタル云々此ノ
城ノ寺主若松何レモ誤認シテ浦佐ニ出ル
治方ニ有之右越後國ノ蒲原郡ト云々此代

國初麻新ト云々同リ會津藩之刻也
テ四若松縣ニ於ケルモ同一管轄地ナルヲ
以テ當初編纂ニ係ル一覽表ノ如キ序
不用意ヲ以テ浦佐ニタルモノト被認
而實寺ノ終斗表ニ右ノ誤認ノ由
載セシモノ有之又本縣ノ地圖タル四若
松縣ノ地圖ノ部分ノ下國目表ニ右ノ浦
佐ノ寺具終斗圖ト浦佐ニタルモノ有テ
引渡シ給フ於テモ該圖中飯豊山ノ
位置誤謬アルヲ心付カス今日ニ及ビタル
寺ニ有之同ノ四若松縣ニ於テ下國目表
實況ヲ當時取扱ニタルモノニ於テ取調フル
右ハ寺ヲ浦山ノ高僧ヲ測ルヲ主トシ飯

豊山所屬ノ如何等ニハ悉ク關係シタル
義ニ至リテ全ク一貫之義ハ得ル所ナシ
其位置ヲ指シテ右ノ誤リタルモノ有之ル
一新編會津風土記版豊山ハ南条郡ナリト
以テ申シ然レバ誤共右ノモノニ載セラルト
シテ他ノ五卷四記等ニ現在スルモノヲ據テ
ハカニカルモノニ對テ全ク右ノ新編會津風土
記版豊山ノ所在ノ如キハ當時編輯者ノ
誤謬ニ出ルモノト知悉ナリ
右ノ通ニ有之ル各稿此年十月衆才
二一書四錄一以四卷主於以冬思フ所
有之度此致及以四卷主也

明治廿三年 十月五日

福島縣知事山田信道

新潟縣知事千田貞曉殿

参考

趣

曩(なき)

龍

摠(総)

一

毫
(すこし)

拓

日衆

枕

拓

一

毫